

令和 8 年度 （ 日本史探究 ） シラバス

教 科	地理・歴史	科 目	日本史探究		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	文系
教 科 書	詳説 日本史（山川出版社）		副教材	図説 新詳日本史（浜島書店）	
学習目標	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第Ⅰ部 原始・古代 （旧石器時代～平安時代中期）	国家の形成について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、ヤマト朝廷の形成過程や律令体制の変遷について理解している。
2 学期	第Ⅱ部 中世 （平安時代後期～室町時代）	諸資料から情報を読み取り、武家政権の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の確立、および、変遷について理解している。
3 学期	第Ⅲ部 近世 （安土・桃山時代）	日本の戦国期と、大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	歴史的諸事象に関して、世界と日本という相互的視野から、理解しているとともに、人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などを活用し、課題を追究したり、解決したりできる。	考査 確認テスト
思考・判断・表現	東アジアの情勢の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、歴史的諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現することができる。	考査 確認テスト プレゼンの内容
主体的に学習に取り組む態度	歴史的な諸課題について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業態度 授業中の提出課題 振り返りシート